

令和 6 年度第 1 回羽島市都市計画審議会（会議要旨）

日 時	令和 7 年 2 月 13 日（木）午前 9 時 30 分～午前 10 時 13 分
場 所	羽島市役所 本庁舎 3 階 301 会議室
委員出席者	大野栄治委員、藤本恵司委員、神田春彦委員、浅野喜代子委員、安田和広委員、宇野恵利子委員、野口佳宏委員、原一郎委員、栗津明委員、南谷清司委員、奥田雅之委員
内 容	1. 開会 2. 市長あいさつ 3. 配布資料の確認 4. 出席者の確認 13 名中 11 名出席しており、羽島市都市計画審議会条例第 6 条第 1 項の規定により会議が成立する。 5. 審議会の公開について 6. 会長の選出について 7. 職務代理者及び議事録署名者の選出について 8. 審議 議題 羽島都市計画道路網の見直しについて 9. 閉会
主な質疑応答	【議題 羽島都市計画道路網の見直しについて】 ・ パーソントリップ調査について、第 6 回調査での移動数が減少しているとのことであるが、報告されている数値は調査ごとの平均的な数値ということでしょうか。 → パーソントリップ調査は概ね 10 年ごとに実施され、該地域の方のある 1 日の行動記録を対象にアンケート調査を行い、その結果に基づいた数値が報告されております。 ・ 第 6 回中京都市圏パーソントリップ調査では、コロナウイルスが影響していると思われるため、移動数の減少について、結果をそのまま鵜呑みにしてよいのか。 → 第 6 回中京都市圏パーソントリップ調査の中間報告にて、コロナウイルスの影響についての報告がありましたが、影響はあまりないとの報告がなされております。 なお、コロナ禍において、リモートワークやインターネット通販が一般的に普及したことにより、今後もこのような流れが続いていくのではないかと考えられます。 ・ 前回の都市計画道路網の見直し方針において、見直しが必要な路線は全て実現性が乏しいとの報告がされているが、その

理由は何か。

→検討項目につきましては、将来都市像との整合性、道路整備優先性、実現性、道路ネットワークとしての必要性、道路機能の代替性からの必要性の5項目に分けて評価を行っています。実現性につきましては、工事の施行性、地域の意向等、様々な観点より評価を行い、現在の状況と照らし合わせながら判断をしています。

- ・他の評価項目以上に実現性の項目の重みが大いとの認識でよいのか。

→そのような認識で問題ございません。

- ・都市計画道路網の見直しが行われる際は、その都度、中京都市圏パーソントリップ調査に基づいて実施されるのか。

→過去の都市計画道路網の見直しを行った際にも、同様の調査データを基に交通量解析を行い、現況を測量したデータ等を踏まえながら整合性を図りつつ、最終的には調査項目と照らし合わせながら、見直し路線を決定していきます。

- ・都市計画道路の整備状況についてですが、改良率とはどのような数値でしょうか。

→改良率は、都市計画決定どおりに道路整備が実施されている数値となっております。

- ・前回の都市計画道路網の見直し方針における評価項目の中の将来都市像との整合性についてですが、現在の都市計画道路網と将来都市像との整合性はとれているのでしょうか。

→昭和30年代に都市計画決定しておりますが、現在までの社会情勢の変化等により、都市計画決定当時と現在の将来都市像との整合を図ることが難しい、状況が変わってきてしまっているという認識でございます。

- ・現在検討されている都市計画道路が廃止等された場合、都市計画道路の整備状況にはどのように反映されるのか。

→都市計画道路が廃止された場合、廃止路線分の総延長が減少することになりますので、整備率は増加すると考えています。